

第6回とよがわ流域県民セミナー 振り返りシートについて

【講座の運営についてのご意見】

運営についてのご意見等	回答
<ul style="list-style-type: none"> 細かい所にまで気を配って頂き心のこもった運営に感謝しています。 	<p>ありがとうございます。今後とも良い運営ができるように努めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> サイドイベントを充実すると参加者が増えると思います。 今回、高校生も参加した催しもあったのに紹介されなかったのは残念です。 	<p>高校生の出店がされていたことは全く知りませんでした。私ども運営委員は関知しておらず、高校生の皆さんには、大変申し訳なく思います。なぜこのように私達の知らないところで出店がされてしまったのか、今後はこのようなことのないよう、気をつけたいと思います。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 会場からも発言できるのはとても良いことだと思いました。 	<p>ありがとうございます。今後の運営の参考とさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 午前の部のプレゼンター（愛知県職員、東海農政局職員）が午後にはいなかったの、午後の部の質疑応答がフラストレーションがたまった。最初から午前-午後通して参加してもらいように設定できなかったのか？（話が一方通行になってしまっている） 	<p>午前と午後の二部制にしたことにより、このような懸念が生じることは承知していましたが、いろいろな制約の中で、会の運営を行っていることをご理解いただければと思います。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 午前中に登壇された県の方も、午後の時間を共有して頂きたかったです。（退席されたようなので。） 	<p>午前と午後の二部制にしたことにより、このような懸念が生じることは承知していましたが、いろいろな制約の中で、会の運営を行っていることをご理解いただければと思います。</p>
<p>良</p>	<p>ありがとうございます。今後とも良い運営ができるように努めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 質疑・ディスカッションの席に県・国（農政局）の人が居なくてはおかしいと思います。特に豊川用水担当（水資源開発）は必要。今回の場合、回答者が学者のみでは無責任回答となる。あるいは県に聞いて。 	<p>午前と午後の二部制にしたことにより、このような懸念が生じることは承知していましたが、いろいろな制約の中で、会の運営を行っていることをご理解いただければと思います。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 大変良かったです。ありがとうございました。 	<p>ありがとうございます。今後とも良い運営ができるように努めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 1日を通してでも可！ 	<p>ありがとうございます。今後とも良い運営ができるように努めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 愛知県、東海農政局の講師は午後に残っていてほしかった。 	<p>午前と午後の二部制にしたことにより、このような懸念が生じることは承知していましたが、いろいろな制約の中で、会の運営を行っていることをご理解いただければと思います。</p>

第6回とよがわ流域県民セミナー 振り返りシートについて

【講座の運営についてのご意見】

運営についてのご意見等	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・連続して公開講座をされている事を始めて知りました。もう少しPRがあってもいい講座と考えます。 ・何かを建築する時の住民の声を聞くという行政の公聴会等はニュースなどで見ると短時間を実績を残すだけの会のイメージですが、今回、この会の目的が「設楽ダムに関して県民が共に考えるための取組みの一つとして」である様に、愛知県が主催する会でこの様に実施されていることを知り、おどろきかつ、意味があると理解しました。 	<p>ありがとうございます。今後とも良い運営ができるように努めてまいります。Prにつきましては、なかなか良い方法が見つからず今日まで来ています。ご提案があれよろしくお願い致します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・正しい情報を皆さん求めているだけです。その場を提供していただき、感謝しています。 	<p>ありがとうございます。今後とも良い運営ができるように努めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・今回、はじめて参加しました、多いに勉強になりました。説明いただいた愛知県、東海農政局、富樫先生、蔵治先生、井上先生に感謝します。又、スタッフの皆様に。 	<p>ありがとうございます。今後とも良い運営ができるように努めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・豊川の怖さを身近で感じていない、かつ知らない人達が、勝手な自分の思いを発言する場は不愉快である。 ・東三河の住民は温和であり、大きな声も出さない。 ・豊川の恩恵を受けていない人達の大きな声ばかり目立つのは正しい情報の伝達にはならず不公平である。傍聴者の意見は聞かない方が良い。 	<p>ありがとうございます。今後の運営の参考とさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・農業用水の費用負担の問題については1回分の講座を開いて、勉強する価値がある一深刻な問題を含んでいる一と思います。ご検討下さい。 	<p>ありがとうございます。今後の運営の参考とさせていただきます。</p>

第6回とよがわ流域県民セミナー 振り返りシートについて

【講座の内容についてのご意見（その他、両講師、不明）】

内容についてのご意見等	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少の時代になっている点を考えると、ダムは要らないではないか ・節水で十分水不足に対応出来ると思う。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・利水について予測水量が過大に計算されていることが理解できた。実態は充分足りているのに、不足すると予測しているのはおかしいことである。 ・水の地産地消（蔵治先生の言）に賛同である。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・午後の部の話、大変わかりやすく有難うございました。 ・入口で戴いた資料の内、伊奈先生の話も聞きたいです。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・設楽ダムのメリット・デメリットが明解になってきて、この成果をダム検証に反映させるとよい。国民、県民が再認識し、三河湾流域圏の持続可能社会の構築を考えるといいと思います。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・豊川の水源について、基本的な水量計算の基礎を教えていただき今回は非常に有意義な講演会でした。 	<p>ありがとうございます。今後とも良い運営ができるように努めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・1日ダムの勉強ができて、充実した1日がすごせました。お疲れさまでした。富樫先生からは午前中の県の方々からの話に対して違う意見が聞けましたが、県側からのそれに対する意見や反論が聞けず、とても残念でした。何で帰ってしまったんですか？？農家の人が水が必要だから税金使ってダム作るっていうのは理由になりません。質問の時に農家がこれだけ作りたいっていうのに対して、県から減らすようには言えないって答えてたけど、限りある資源の中で農作業をすること考えることも農家は必要です。上流のダム建設予定から移住された方々はがまんして、水の無い地域が、じゃぶじゃぶその水を利用して生活費を稼ぐことは疑問を感じますが。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・両方の意見を聞いて良かったです。行政側が「ダム」ありきで資料を作られている気もしました。まっさらな状態で再検討していただきたいです。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・水需要予測について、多少理解できました。ダムが必要かどうかの土台の一つであり、今日の話では、建設にはかなり無理があることがわかった。 	

第6回とよがわ流域県民セミナー 振り返りシートについて

【講座の内容についてのご意見（その他、両講師、不明）】

内容についてのご意見等	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・講師のマイクの使い方と語調によっては聞き取りにくいときがあった。 	<p>ありがとうございます。今後の運営の参考とさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・不特定用水が農業用水のためとは、全然知りませんでした。そして足りているというご意見。でも、このことについては、やはり、よくわからなかったです。必要の内容は、最初の説明にあったと思うのですが、最初はわかっていなかったため、理解がおくれてしまいました。また、動画などで、振りかえりたいと思います 	<p>ありがとうございます。よりわかりやすい講演やディスカッションを提供できるような運営に努めます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんど知らないことを理解でき、非常に有意義でした。 ・とよがわ流域で種々の事と考える事はあるのですが、その基礎になる水の流れに関する知識を得ることができました。 	<p>ありがとうございます。今後とも良い運営ができるように努めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・県民の財産を守るのが、公共事業のはずが、事業ありきで進んできた計画だと、県と農水局をはじめ、事業者側の話を聞くたびにその確信は大きくなる。事業計画の裏で、県民がその生まれた場所をはなれなければならないというつらさをどう考えているのだろうか。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県、東海農政局の考え方や算出方法の中味が、当局及び富樫先生、比較（蔵治先生）により、よくわかった。 ・当局の第??データの根拠が、古いものなので、富樫先生、蔵治先生が言うように、最近の実績データにより、将来見通しをやってほしい（時代や状態がかわったら、勇気をもって計画をかえるべし） 	
<ul style="list-style-type: none"> ・豊川の恩恵を受けていない人に地域の安全安心を語ってほしくない。 	

第6回とよがわ流域県民セミナー 振り返りシートについて

【講座の内容についてのご感想・ご意見（愛知県・東海農政局）】

内容についてのご意見等	回答
<p>・国・県のダム計画及び予測が過大すぎて実績に合っていないという内容で大変わかりやすく、納得することができた。国や県の方は、自分たちの言いたいことばかり発言し、質問に答えない。午後も少し残り、住民からの意見を聞こうとしないとか、質問にも答えない。この態度が問題ではないか。</p>	<p>ご感想としてお聞きしておきます。 午前中の国・県の説明時間中に皆様方からの質問にすべてお答えすることができず、申し訳ありませんでした。 なお、当日（8/3）午後の部における愛知県及び東海農政局の職員の退席は、今回講座の企画立案時に、愛知県を被告とする「設楽ダム公金支出差止等請求訴訟」が係争中であることから、裁判でのやりとりの再現にならないよう配慮されたためのものですのでご了承下さい。</p>
<p>・外れ続けてきた需要予測の方法（手続き・マニュアル）の説明を聞かされても意味がない。寒狭川頭首工の完成が設楽ダム計画にどう反映されたのかが説明されていない。「川をいじめてきたのだから補完する」というのは笑止。ダムほど川をいじめる事業はないといえる。川を守る必要があるというなら、ダム計画をやめるべき。ため池保全のために投資する方がダムに投資するよりはるかに健全。 ・負荷率の説明で日内変動をもち出したのは、あきらかにウソ。何で見えすいたウソをつく？利用率・・・低すぎる。</p>	<p>今回の講座は水需要についてをテーマとして、「水需要がどのように推計されたか」、「現状との比較してどうか」ということを、一般の方にもしっかりと理解して頂くよう、分かり易さに重点を置いて説明させて頂いたものであることをご理解下さい。 なお、負荷率については、一般の方にもイメージしていただけるよう日常生活に関連付けて説明させて頂いたものです。</p>
<p>・農水省、愛知県の「・・・水需要について」の説明では、過去、現在の実績とダム計画での計画値がグラフで示されなかったもので、説明不足であった。</p>	<p>配布資料p38～43に実績と計画値とを比較したグラフを示していますのでご覧下さい。</p>
<p>・県、農政局のデータ解析、水需要、予測については、新しいデータを採用すると共に、整理又精査し、現実に近く、実態に則したものにしてほしいと思いました。</p>	<p>最近のデータを用いた水需要の再計算については、今後、国が行う次期水資源開発基本計画において行うこととなります。</p>
<p>・供給できる水は足りているのに、「ダムは不要」と発言し、その方向に行政をひっぱってゆく人材がない。それぞれ御身大切に流れにさからえない官僚ばかりというのがよくわかった。 ・国の借金（地方も）がどんどん増えるので水不足より税不足で国が破綻するだろう。</p>	<p>ご意見として伺っておきます。</p>
<p>・県・農政局の資料は、正確な理解を妨げるように作られていると感じました。例えば、水道用水、工業用水の実績を示したグラフ（P38～P41）では開発水量が示されていません。足りているかどうかを考えるには、これが示されていなければ分かりません。小島先生も、このことが理解できないまま質問しました。P42、P43も開発水量が示されていない点では同じです。</p>	<p>今回の講座は豊川水系フルプランにおける各用途の需要量について説明させて頂きました。 配布資料p38以降のグラフは実際の使用水量（公表数値）とフルプランにて推計された需要量を単純に比較したものです。</p>

第6回とよがわ流域県民セミナー 振り返りシートについて

【講座の内容についてのご感想・ご意見（蔵治講師）】

内容についてのご意見等	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・蔵治先生の解説及び午後の討議で設楽ダム建設に係る経緯がよく理解出来ました。全くの門外漢で（専門は工業化学で医薬開発などに従事してきました）豊橋に住んでいて、歴史を勉強しながら観光ボランティアガイドをしております。豊橋にとって「豊川」は極めて大切な資産であり、奥三河の森と共に三河湾を支えていると同時に東三河の母なる河として大切な水を与えてくれる存在です。 ・設楽ダム建設の賛否を巡って、身近な友人達が激しい議論をしているのをみて、第1回より本講座を受講させて頂きました。 ・極めて消極的な意見ですが、豊かな自然に恵まれたこの豊橋を守るのも大切な選択肢の一つと思います。専門家各位の真剣な討議によりベストな結論に至るのを期待しています。次回以降も参加したいと思ってます。 	<p>私の講演が皆様の参考になれば幸いに存じます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・私用のため午前の部を欠席しました。蔵治先生の解説はわかりやすかったです。 	<p>私の講演が皆様の参考になれば幸いに存じます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・万場調整池を何回も使うとはどうゆうことか？ ・流した水をどのように何回も使えるの。？ 	<p>流した水を何回も使う、という仕組みではありません。豊川総合用水事業では、ダムに加えて、「調整池による水源開発」が行われました。豊川が洪水のときにも、洪水の水を調整池に導入し、貯留できるようにしました。</p> <p>通常の池では、洪水時の河川の水は、池に溜まらずに海に流れていってしまいますが、豊川総合用水事業の調整池はそうではなく、洪水時の水までも貯水できる、貯水ダムと同じ能力を備えています。</p>